

拠出金名: 世界エイズ・結核・マラリア対策基金拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				21,970,146千円	
国際機関等名	世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (英文名称・略称) The Global Fund To Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局専門機関室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外 貨1 (千ドル)	外 貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成20年度	21,970,146	194,426		1ドル = 113円	100
平成19年度	21,326,017	183,845		1ドル = 116円	100
平成18年度	20,646,755	186,007		1ドル = 111円	100
当該拠出金の目的・用途等	アジア・アフリカを中心とした途上国における三大感染症対策支援				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政 (2008年決算)(千米ドル)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年の収入	3,920,213
1位	米国	809,523	26.1	当該年の支出	2,530,454
2位	フランス	428,644	13.8	次年への繰越	1,389,759
3位	ドイツ	312,202	10.1	会計検査機関名	
4位	イタリア	186,891	6.0	Ernst & Young	
5位	日本	183,845	5.9		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>世界基金は2000年の九州・沖縄サミットを契機として設立された日本外交の成果であり、我が国は「生みの親」である主要ドナーとして世界基金の運営に主体的に関与してきた。世界基金は設立以来140ヶ国の約600の事業に対し187億ドルを上限とする資金供与を承認し、これらの事業によりこれまで400万人の命が救われたと推定されている。このように世界基金は短期間で効率的かつ効果的な成果を挙げているが、2015年までに感染症関連ミレニアム開発目標を達成するためには、ドナー国として世界基金の活動を一層支援する必要がある。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>世界基金は、設立後5年の活動を評価するため有識者グループによる「5カ年評価」や、外部コンサルによるレビューを実施し、様々な提言を受けた。現在、各種の提言を受け、事業や事務局の活動の更なる合理化、機能強化の取組を進めており、理事会や各種委員会において取組のフォローアップを行っている。また、事業管理体制の合理化も進められている。</p>					
邦人職員数	2 人	当該機関全体の職員数	470 人		
うち幹部以上	うち 0 人	及び邦人職員が占める率	0.4 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
候補者発掘のため、大学等への働きかけを行うとともに、事務局に対しては邦人職員の採用を働きかけている。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。